

16 平成 26 年 8 月 20 日豪雨災害被災地の復興まちづくりの推進について

(国土交通省関係)

要望内容

被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり（Ⅱ期）（防災・安全）の財源確保
長束八木線ほか 1 路線の整備

（要 旨）

八木・緑井地区等で発生した土石流などにより 77 名もの尊い生命が失われ、被災家屋も 4,700 棟を超える甚大な被害をもたらした平成 26 年 8 月 20 日の豪雨災害から 9 年を迎えます。

本市では、広域避難路となる都市計画道路や砂防堰堤の整備などにより、今後とも安心して住み続けることのできる災害に強い安全なまちによみがえらせることを基本方針とした「復興まちづくりビジョン」を平成 27 年 3 月に策定し、このビジョンに掲げる様々な復興事業に取り組んでいます。

令和元年度までの「集中復興期間」の整備に引き続き、令和 2 年度からは、「継続復興期間」として都市計画道路の整備等を行っているところで

つきましては、これら復興まちづくり事業の円滑な推進が図られるよう、継続的な財源確保について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参 考)

事業の概要

区 分	事 業 期 間	事業区間 延 長	幅 員	総事業費
被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり（Ⅱ期） （防災・安全） （街路事業）				
長 束 八 木 線 ほか 1 路 線	令和2年度～令和6年度	1,700m	16～22m	83億円

